

令和6年用柿病虫害防除基準

発行：JAさがえ西村山・さがえ西村山柿部会

- 農薬を使用する際は、農薬の使用基準を遵守し、適正に使用してください。
- 農薬の使用基準は、農薬容器のラベルに記載されています。使用に際しては、ラベルをよく読んで確認してください。
- この基準は、令和5年10月1日現在の農薬登録内容に基づき作成しています。登録内容に変更が生じた時は、変更された内容に準じて使用してください。

散布時期	適用病虫害	薬剤名及び濃度 (水100ℓ当たり薬量)	収穫前 使用日数	総使用 回数	散布量	注 意 事 項 (収穫前使用日数、総使用回数)	防除履歴
① 休眠期 (発芽直前まで)	カイガラムシ類	1. 水 (98ℓ)	発芽前	-	300ℓ	1. ハーベストオイル50倍に替えて、スプレーオイル50倍(発芽前、-)を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ハーベストオイル 50倍(2ℓ)					
② 5月中旬	アザミウマ類	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ)	前日まで	3回以内	400ℓ	1. ハマキムシ類の発生が多い園では、さらにダイアジノン水和剤34㉟1,000倍(45日前まで、4回以内)を散布する。 2. カキクダアザミウマの被害葉は見つけ次第摘み取り土中深く埋める。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. モスピラン顆粒水溶剤㉞ 2,000倍(50g)					
③ 開花直前 (5月下旬)	落葉病 炭そ病	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ)	45日前まで	2回以内	500ℓ		散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ベンコゼブ水和剤 800倍(125g)					
		3. テツパン液剤 2,000倍(50mℓ)					
④ 落葉病 重点 防除 満開期 (6月10日頃)	うどんこ病 落葉病 炭そ病	1. オンリーワンフロアブル 2,000倍(50mℓ)	前日まで	3回以内	500ℓ	1. アーデントフロアブルに替えて、テルスターフロアブル㉟3,000倍(3日前まで、2回以内)を使用してもよい。 2. すす点病の多い園では、園内の通風採光を図るとともに、6～7月の薬剤散布を徹底する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
	アザミウマ類 カメムシ類 ハダニ類	2. アーデントフロアブル 2,000倍(50mℓ)					
⑤ 6月下旬	落葉病 炭そ病 うどんこ病 すす点病	1. アミスター10フロアブル 1,000倍(100mℓ)	7日前まで	3回以内	500ℓ	1. アミスター10フロアブルに替えて、ナリアWDG2,000倍(前日まで、2回以内)を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ダントツ水溶剤 4,000倍(25g)					

アザミウマ重点防除期なので、
防除を徹底する。

落葉病特別対策

例年、落葉病が多発する園地や荒廃園の隣接園では6月下旬までICボルドー412 50倍(-, -)を使用してもよい。

柿施肥基準(成木:10a当り)

作型・目標収量	肥料名	施肥量(kg)	施肥時期	N	P	K
平核無 2,000kg	フレッシュフルーツ有機40	100kg	9月下旬	10.0	4.0	2.0

耕種的防除

全般	1. 適切な肥培管理等により、樹勢を健全に保つ。 2. 園地の角など薬剤が到達しにくい部分や混み合っている部分の枝はせん除し、葉液が隅々まで到達しやすいようにする。 3. 病虫害は樹上の粗皮や芽の付近に越冬するものが多いので、効率防除を図るため、休眠期防除前に粗皮削りを行なう。
落葉病	1. 落葉を集め、土中深く埋める。
カキクダアザミウマ	1. 被害葉(葉巻など)は、見つけしだい摘み取り適切に処分する。
すす点病	1. 園地周辺の通風採光を図るとともに、枝葉が混みあわないように整枝・剪定を行う。

散布時期	適用病虫害	薬剤名及び濃度 (水100ℓ当たり薬量)	収穫前 使用日数	総使用 回数	散布量	注 意 事 項 (収穫前使用日数、総使用回数)	防除履歴
⑥ 7月中旬	落葉病 炭そ病 うどんこ病	1. 展着剤(アピオン-E) 1,000倍(100mℓ)	14日前まで	5回以内	500ℓ	1. 前年チャノキイロアザミウマ・カキクダアザミウマ・カメムシ類・ハマキムシ類が多発した園では、ジェイエース水溶剤に替えて、ロディー水和剤㉟1,500倍(7日前まで、3回以内)を散布する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ドキリンフロアブル 800倍(125mℓ)					
⑦ 7月下旬	落葉病 炭そ病	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ)	前日まで	3回以内	500ℓ	1. 高温時の散布は葉害の危険があるので、気温の低い時に散布する。 2. 降雨が多い場合、果実の軟化防止対策として以降の防除にストビットII500倍を加用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. スコア顆粒水和剤 3,000倍(33g)					
		3. ジェイエース水溶剤 1,500倍(66g)					
⑧ 8月中旬	落葉病 すす点病	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ)	14日前まで	3回以内	500ℓ		散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ベルクート水和剤 1,000倍(100g)					
⑨ 8月下旬～ 9月上旬	落葉病 すす点病	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ)	14日前まで	4回以内	500ℓ	1. 前年、落葉病やアザミウマ類が多発した園地では、本防除を必ず実施する。 2. 高温時の散布は葉害の危険があるので、気温が低い時に散布する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ストライド顆粒水和剤 3,000倍(33g)					
⑨ 8月下旬～ 9月上旬	チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類 ハマキムシ類	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ)	7日前まで	3回以内	500ℓ		散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ロディー水和剤㉟ 1,500倍(66g)					